

秋田県勢が活躍！ミニ国体

平成19年開催
秋田わか杉国体に向けて

●リハーサル大会を終え準備も着々●



平成19年秋田わか杉国体・わか杉大会に向けた東北総合体育大会（ミニ国体）の各競技が9月2日から4日にかけて市内各会場で行われ熱戦が繰り広げられました。本市は、わか杉国体で成年女子9人制バレーボール（鷹巣地区）、山岳競技（縦走種目・森吉地区）、アーチェリー（阿仁地区）、フェンシング（合川地区）の各競技会場となっており、7月に行われたフェンシングを除く各競技が行われました。

鷹巣体育館で行われたバレーボール成年女子9人制と少年女子はともに秋田県代表が優勝、また、大館市で開催された成年男子9人制には県代表として本市から鷹巣クラブが出場、強豪チームに善戦し、準優勝を飾りました。大会関係者は、会場の整備や東北各県から訪れた選手の案内などで奔走、本番に向けた大会運営を実践する機会となり、着々と準備を進めていたようでした。



●青森との決勝となった少年女子。本市の宮腰緑選手（鷹巣南大館桂）の活躍もあり、30で優勝を飾りました。



●アーチェリーの会場は阿仁合の阿仁川河川敷。集中力が欠かせない競技だけに張り詰めた空気が満ちていました。



●7月に実施されたフェンシング競技。合川高校（出身）の本県選手が好成績を収め、本番でも活躍が期待されています。

●山岳競技（縦走種目）は森吉山が会場。スキー場ゲレンデを主なコースに、山野を駆け巡ります。おもり（8～17歳）の入ったリュックを背負い、時間を競う過酷なこの競技は、登山というよりは山でのクロスカントリーです。



●成年男子（スタート）



●成年女子（スタート）



●少年女子（ゴール前）
※写真左は鷹巣高校の高橋春奈選手

第59回全国植樹祭会場に北欧の杜公園が候補地に市の自然の魅力を全国発信



開催地選定を祝う垂れ幕が張られました



全国植樹祭の会場に選定された県立北欧の杜公園

平成20年開催の第59回全国植樹祭会場に「県立北欧の杜公園」が選定され、市役所玄関前に「祝全国植樹祭候補地決定」の垂れ幕が張り出されました。この植樹祭には北秋田市の他、鹿角市（黒森山自然公園・大湯環状列石周辺）、由利本荘市（南由利原高原）の3市が誘致活動を展開しており、7月21日に岸部市長と清水市議会議長が寺田秋田県知事を探ね、誘致の要望書を提出していました。候補地決定の知らせを受けた岸部市長は「まだ正式決定でないが大変うれしい。陳情、招致運動に協力してくれた地元元工会や森林組合に感謝したい。市がテーマとする『自然と人』が調和し、活気とぬくもりのある交流都市の形成にピッタリ」と協力してくれた各団体に感謝の意を表し、準備については「北

秋田市の自然や観光振興を全国に発信する機会という観点からも、まず道路整備を進めたい。約1万人を越える出席者、関係者の宿泊施設の準備も課題。県と相談しながら最大限の協力をしていきたい」と述べました。主な選定理由として①新たな造成をせずに会場が確保できる。また、既存施設を有効に利用すること、全国植樹祭の趣旨に則った行事が実施できる。②他の候補地に比べて経費の節減が可能。③過去の行幸啓などの地域的なバランスから、優先度が高い、というものでした。この植樹祭の正式決定は10月に（社）国土緑化推進機構の理事会で決められることになっています。

市長日誌

8/16
3/1

16日（火） 満100歳を祝い七日市在任の畠山ミエさん宅を訪問

阿仁の灯籠流しと花火大会に出席

22日（月） 9月補正予算にかかる市長査定を実施

23日（火） 鷹巣地区土地改良区合併予備調印式及び祝賀会に出席

24日（水） 市役所本庁舎除細動器設置セレモニーに出席

25日（木） 県道比内森吉線道路整備促進協議会総会に出席

森吉地区戦没者追悼式に出席

郵政事業地方公共団体連絡協議会に出席

北秋田市・森吉山ダム調整会議に出席

北秋田市第3期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会に出席

26日（金） 北秋田市上小阿仁村病院組合正副管理者会議及び議会定例会に出席

29日（月） 北秋田市と北秋田地域振興局との意見交換会に出席

30日（火） 北秋田市鷹巣戦没者追悼式に出席

31日（水） 職員退職に伴い辞令を交付

森吉山ダム定礎記念植樹式に出席

北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合正副管理者会議及び議会定例会に出席